

高齢者施設における 感染対策



群馬大学医学部附属病院
看護部 感染管理認定看護師
須田 崇文

本日の内容

- ◆ 感染対策の基礎知識
- ◆ 最も重要！標準予防策
- ◆ コロナ対策 施設に持ち込まないために
- ◆ コロナ対策 施設内で広げないために



感染対策の基礎知識

：感染成立の3要因

宿主の感受性

感染を起こす
リスクのある人

- ・免疫力 ・年齢
- ・創傷の有無 等

感染経路の
遮断

宿主抵抗力の
向上

感染症
成立

感染経路

病原体が宿主に
感染する経路

- ・接触 ・飛沫
- ・空気

病原体

感染症を引き起
こす微生物など

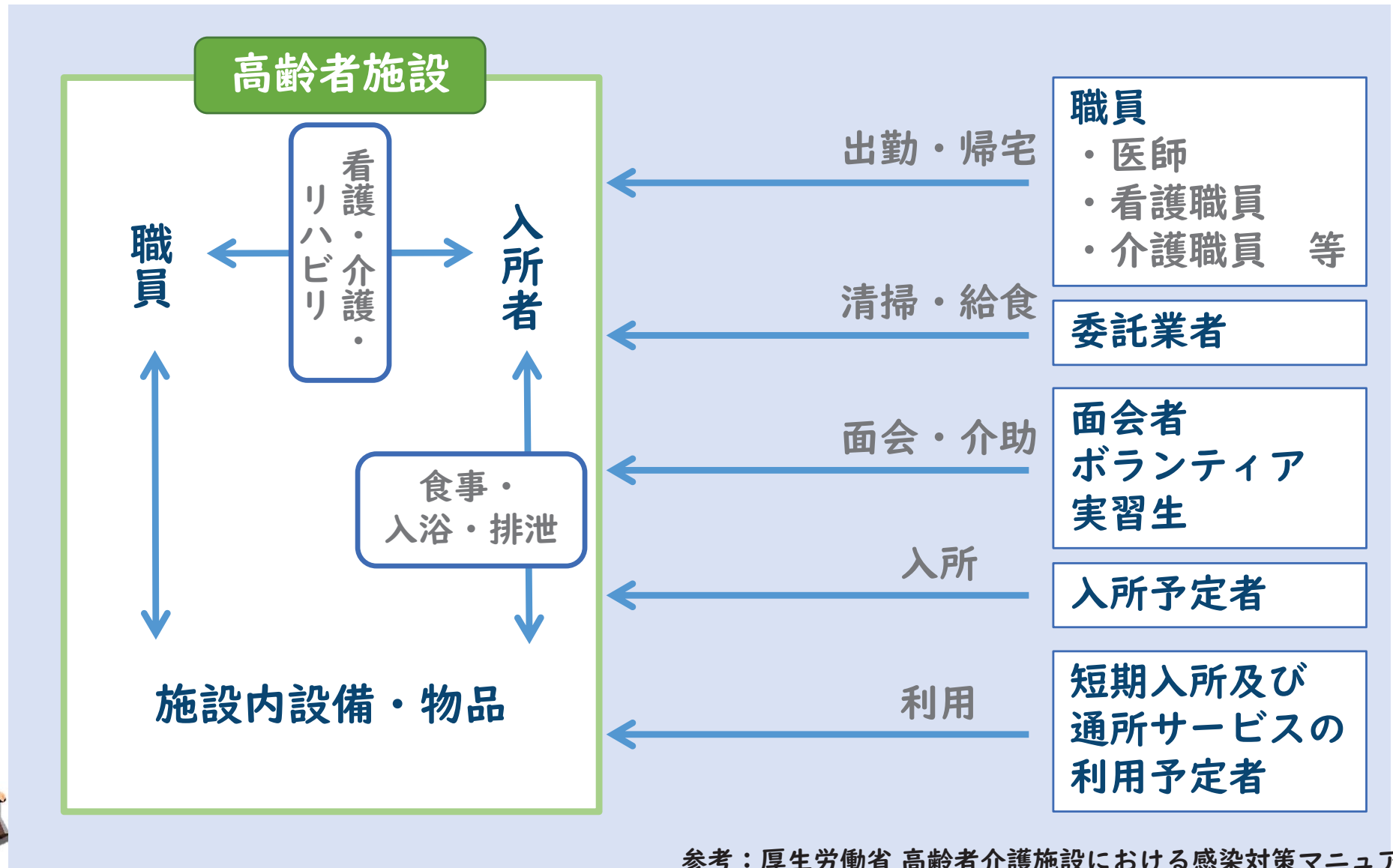
- ・細菌
- ・ウイルス 等

病原体の排除



感染対策の基礎知識

： 感染経路の遮断



感染対策の基礎知識

： 主な感染経路と原因微生物

新型コロナウイルス

感染経路	特徴	主な原因微生物
接触感染	手指・食品・器具を介して伝播する頻度の高い伝播経路である。	ノロウイルス 腸管出血性大腸菌 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）等
飛沫感染	咳、くしゃみ、会話等で、飛沫粒子（5 μ m以上）により伝播する。1m以内に床に落下し、空中を浮遊し続けることはない。	インフルエンザウイルス ムンプスウイルス 風しんウイルス等
空気感染	咳、くしゃみ等で飛沫核（5 μ m未満）として伝播し、空中に浮遊し、空気の流れにより飛散する。	結核菌 麻しんウイルス 水痘ウイルス等
血液媒介感染	病原体に汚染された血液や体液、分泌物が、針刺し等により体内に入ることにより感染する。	B型肝炎ウイルス C型肝炎ウイルス HIV等



接触感染

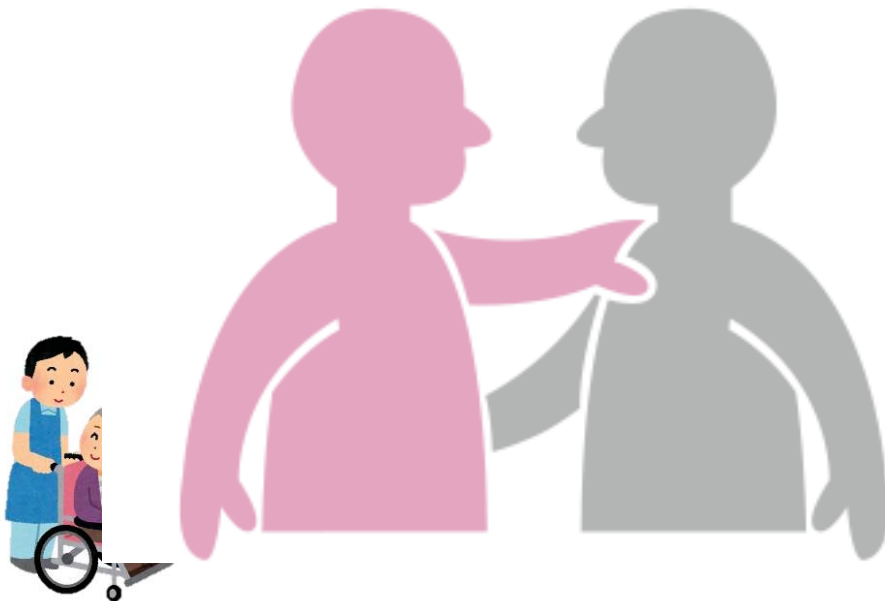
◆直接接触感染

患者の身体に接触する必要があるケアのときに伝播

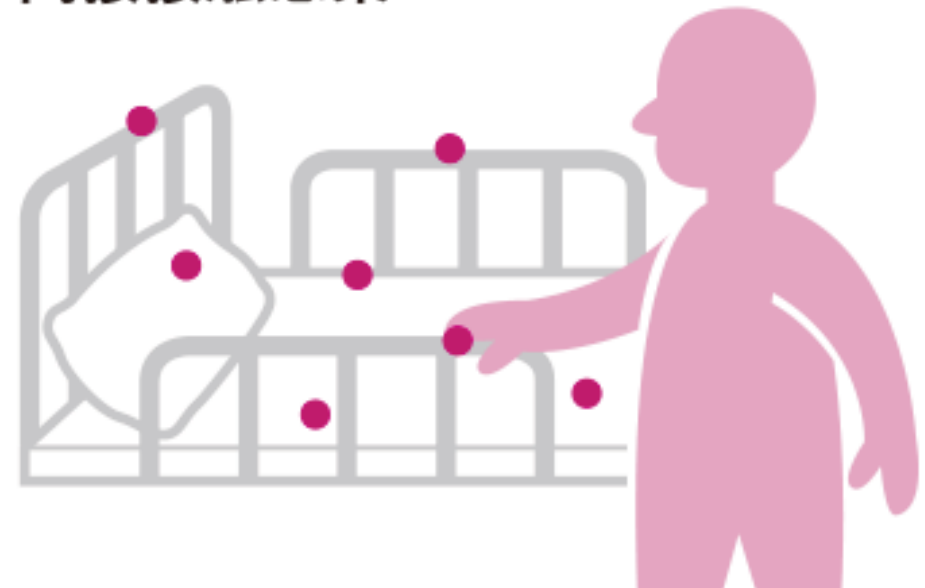
◆間接接触感染

患者の環境のなかで汚染された物品等に触れることで伝播

直接接触感染



間接接触感染

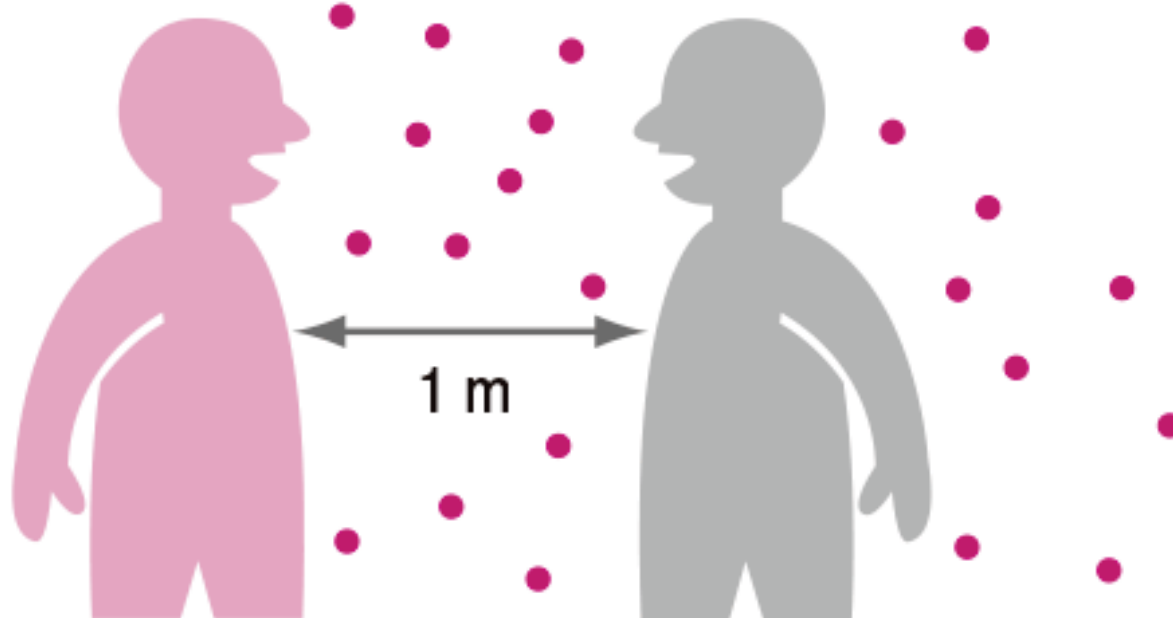


飛沫感染

- ◆主に咳やくしゃみ、会話、あるいは吸引や気管支鏡検査などの医療行為中など、患者と近い距離で伝播する

5 μ m 以上の飛沫

1 m



空気感染

- ◆ $5\mu\text{m}$ 以下の飛沫核や感染病原体を含む塵が飛散することにより起こる
- ◆ 空気感染する疾病は主に、結核・麻疹・水痘(播種性帯状疱疹)の3種類



本日の内容

- ◆ 感染対策の基礎知識

- ◆ **最も重要！標準予防策**

- ◆ コロナ対策 施設に持ち込まないために

- ◆ コロナ対策 施設内で広げないために



標準予防策とは…

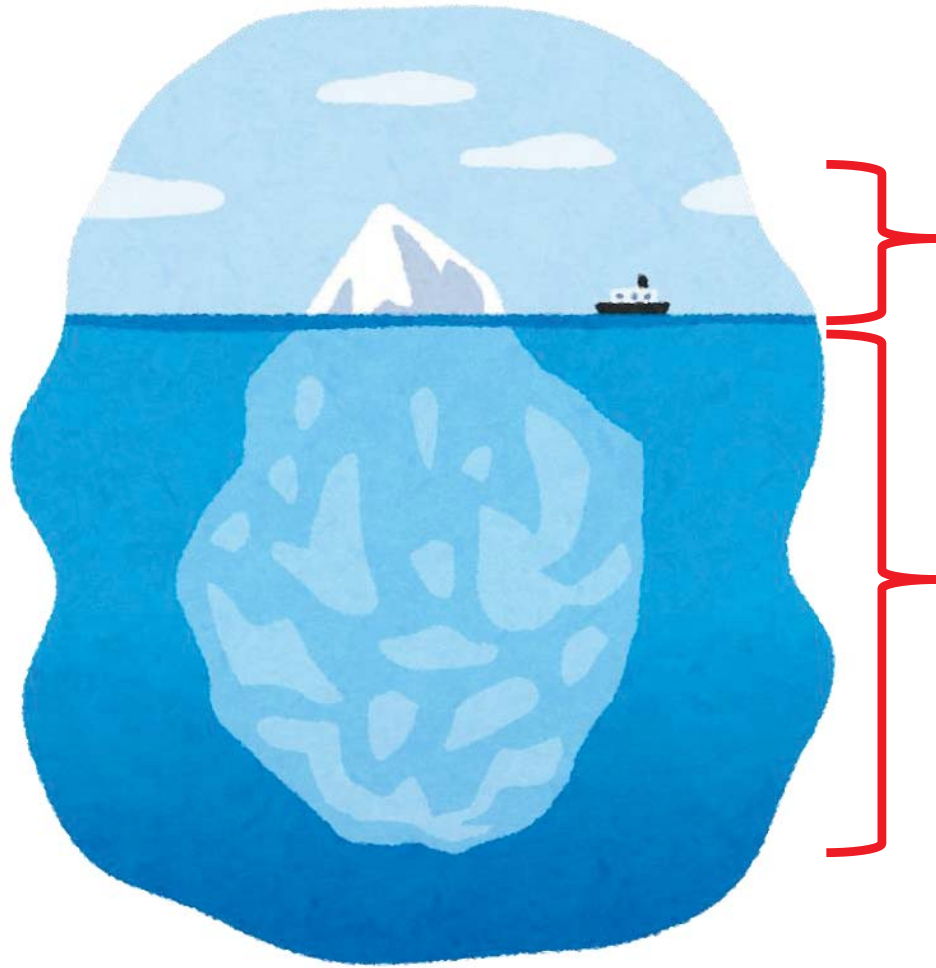
1985年に米国CDC（国立疾病予防センター）が病院感染対策のガイドラインとして提唱したものが基盤となっている。

「すべての血液、体液、汗以外の分泌物、損傷のある皮膚・粘膜は、伝染性の感染性病原体を含む可能性がある」
という考えに基づいた感染予防策。



病院だけでなく高齢者施設
においても有効とされる。

標準予防策の必要性



◆ 何らかの感染が分かっている人

- ◆ 検査していない人
- ◆ 潜伏期間の人
- ◆ 無症候の人
- ◆ 未知の感染症の人



標準予防策 10の具体策



標準予防策 ：手指衛生とは…



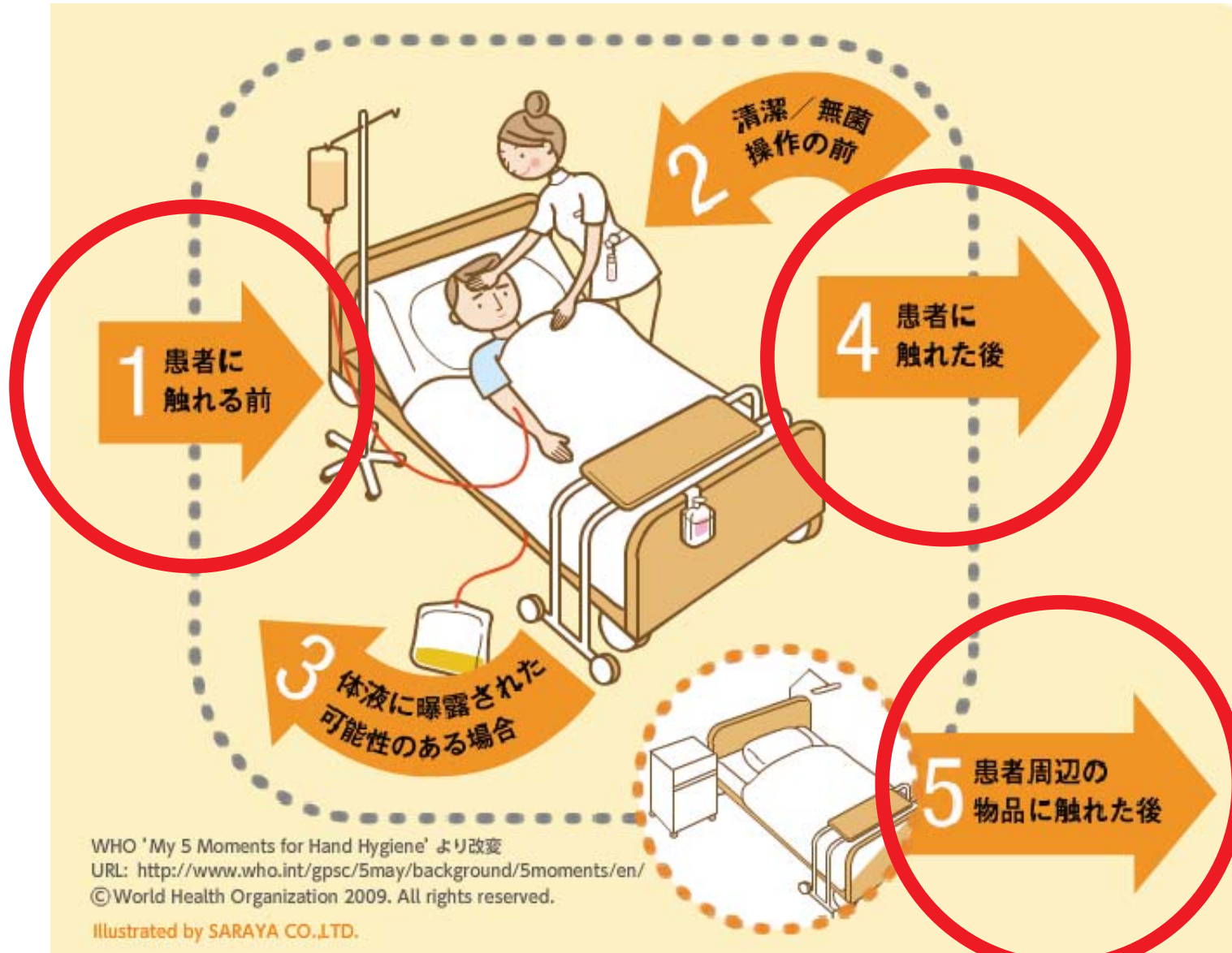
医療環境において
病原体の伝播を減少させる
最も重要な要素



正しい と正しい が
とても重要です！



手指衛生が必要な5つのタイミング



手指衛生が必要な5つのタイミング

手指衛生を行うタイミング	具体例
ご利用者様に直接触れる前後	車いすやベッドへの移動、握手、入浴、食事介助など
清潔操作を行う前	歯磨き、食事準備、負傷箇所のケアなど
体液曝露された可能性がある場合	オムツ交換やトイレ掃除、使用済みのティッシュに触れた時など
ご利用者様の生活環境に触れた後	ベッドのシーツ交換、ご利用者様の私物に触れた後、ご利用者様の居室への入退室時など



手指衛生の種類

流水と石けんによる手洗い



目に見える汚れが手に付着している
(可能性がある) 場合

手指消毒剤での消毒



目にみえる汚れがない
場合



※オムツ交換などの便処理や吐物処理後は流水と石鹸による手洗いを推奨

手洗いの正しい方法

手指の正しい洗浄手順



1 まず手指を流水でぬらす



2 石けん液を適量手の平に受け取る



3 手の平と手の平を擦り合わせよく泡立てる



4 手の甲をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)



5 指を組んで両手の指の間をもみ洗う



6 親指をもう片方の手で包みもみ洗う(両手)



7 指先をもう片方の手の平でもみ洗う(両手)



8 両手首までていねいにもみ洗う



9 流水でよくすすぐ

SARAYA © SARAYA CO., LTD.

POINT 1

30秒以上かけてしっかり行う

POINT 2

洗った後はペーパータオルなどで完全に水分を拭き取る

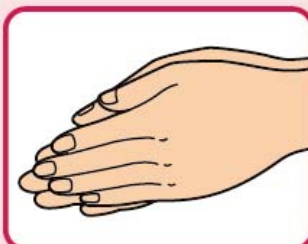


手指消毒の正しい方法

手指の正しい消毒手順



1 ジェル状の速乾性手指消毒剤を適量手の平に受け取る



2 手の平と手の平を擦り合わせる



3 指先、指の背をもう片方の手の平で擦る (両手)



4 手の甲をもう片方の手の平で擦る (両手)



5 指を組んで両手の指の間を擦る



6 親指をもう片方の手で包みねじり擦る (両手)



7 両手首までていねいに擦る



8 乾くまで擦り込む

SARAYA ©SARAYA CO., LTD.

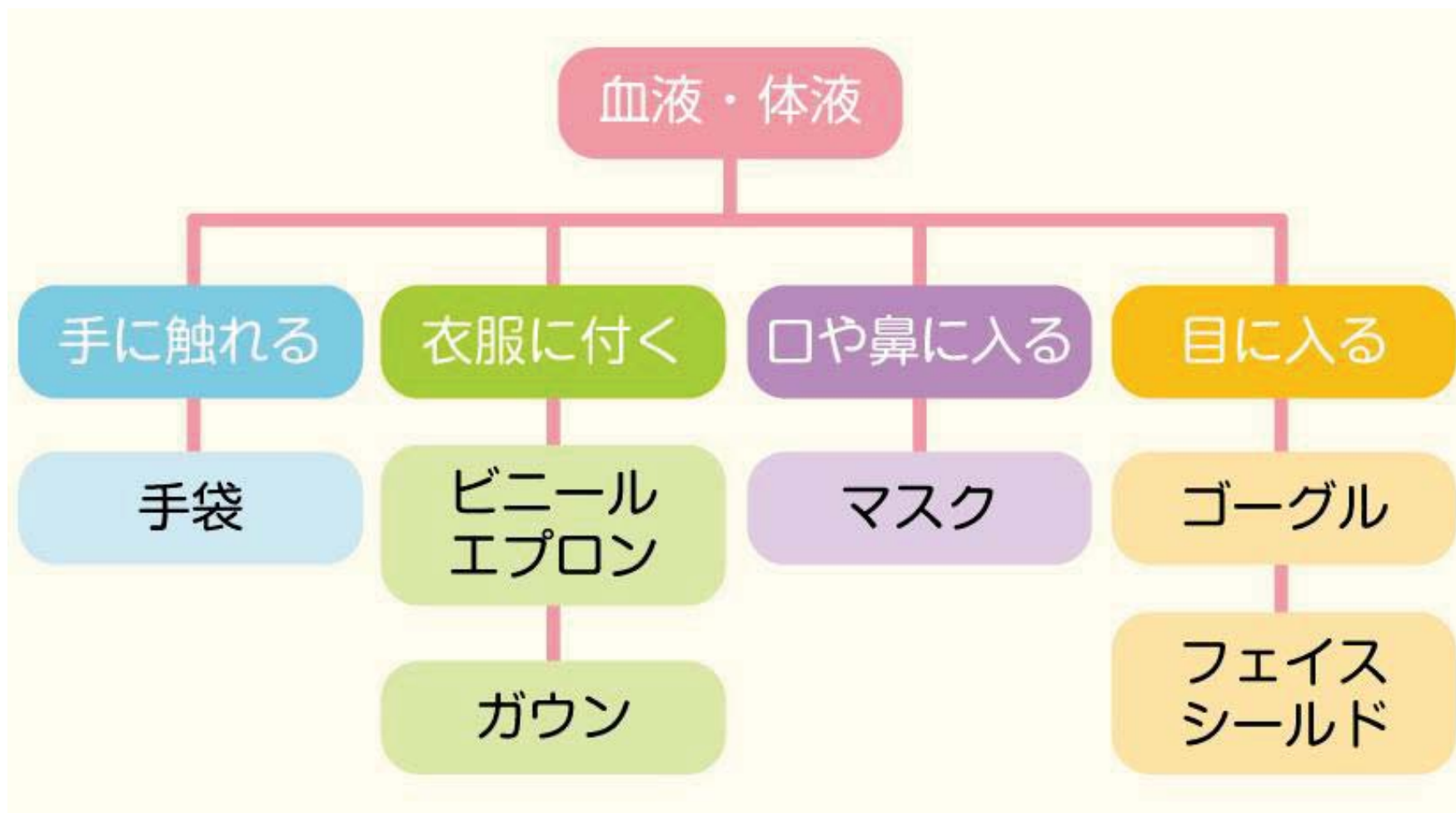
POINT 1 15秒以上かけてしっかり行う
POINT 2 消毒液が乾くまで擦り込む



標準予防策

：個人防護具の適切な使用

個人防護具とは・・・病原体から患者と自分を守るためのアイテムです！



個人防護具着脱の順番

着る順番

手指衛生



ガウン・エプロン



マスク



ゴーグル・フェイスシールド



手袋



個人防護具着脱の順番

脱ぐ順番

重要!

手袋



手指衛生



ゴーグル・フェイスシールド



ガウン・エプロン



マスク



手指衛生



※
汚染がある場合は
手指衛生を
追加しましょう



個人防護具毎の正しい脱ぎ方 手袋

外し方



片方の手袋の
袖口をつかむ



手袋を裏表逆
なるように外す



手袋を外した手を反対の
手袋の袖口に差し込む



手袋を裏表逆
なるように外す

SARAYA © SARAYA CO., LTD.



個人防護具毎の正しい脱ぎ方 ガウン・エプロン

外し方



首ひもをちぎる



汚染面が内側になるよう
腰のあたりで折りたたむ



袖から両腕を抜く



適当な大きさにまとめ、腰ひもをちぎって外し、廃棄する

外し方



首ひもをちぎる



汚染面が内側になるよう
腰のあたりで折りたたむ



適当な大きさにまとめる



腰ひもをちぎって外し、
廃棄する



個人防護具毎の正しい脱ぎ方 マスク・ゴーグル

外し方

①



表面に触れないように
ゴムヒモを外す

②



表面に触れないように
ゴムヒモを持って捨てる

脱ぐときのポイント



- ①外すときはゴーグルの耳の部分、フェイスシールドはヘッドバンドの部分をつかむ
- ②防護具の外面、特に全面は汚染しているため触れないようにする



標準予防策 ：咳エチケット

咳やくしゃみによる飛沫はウイルスを含んでいる
かもしれないため、人にうつさない対策が必要。



3つの咳エチケット

ティッシュなどで鼻・口を覆う
マスクを着用する
衣服の袖などで鼻・口を覆う



手で押さえるはもう古い？



- ◆ 手で押さえた場合、手にウイルスや菌を含んだ飛沫が付着します。
- ◆ その手で周囲に触れると汚染が拡大するリスクがあります。



咳エチケット：マスクの正しい着け方

①裏表を確認しよう



プリーツが下向きになるのが表



中央のプリーツが前に出ているのが表

②鼻のワイヤーをフィットさせ、プリーツを伸ばして顎まで覆う



マスクの着け方 NG集



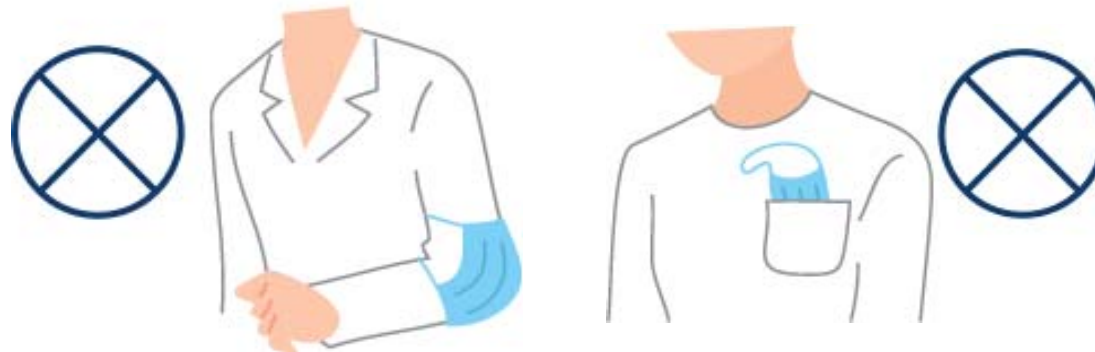
顎が出ています。



鼻が出ています。



問題外です。



着用後外したマスクをこのように保管すると、自身の周囲やポケット内が汚染するのでやめましょう。



標準予防策 ：環境の維持・管理

環境清掃の目的

- 🌻 環境表面の汚染をなくし、手指を介しての汚染拡大を防止する。
- 🌻 目に見える汚れを取り除き、安全で衛生的な環境を提供する。



乾燥した環境表面で、 菌はこんなに長生きしています

菌種	生存期間
黄色ブドウ球菌	7日～7か月
腸内細菌	19日
緑膿菌	6時間～16か月以上
アデノウイルス	7日～3か月
ノロウイルス	8時間～2週間以上
新型コロナウイルス	24時間～72時間



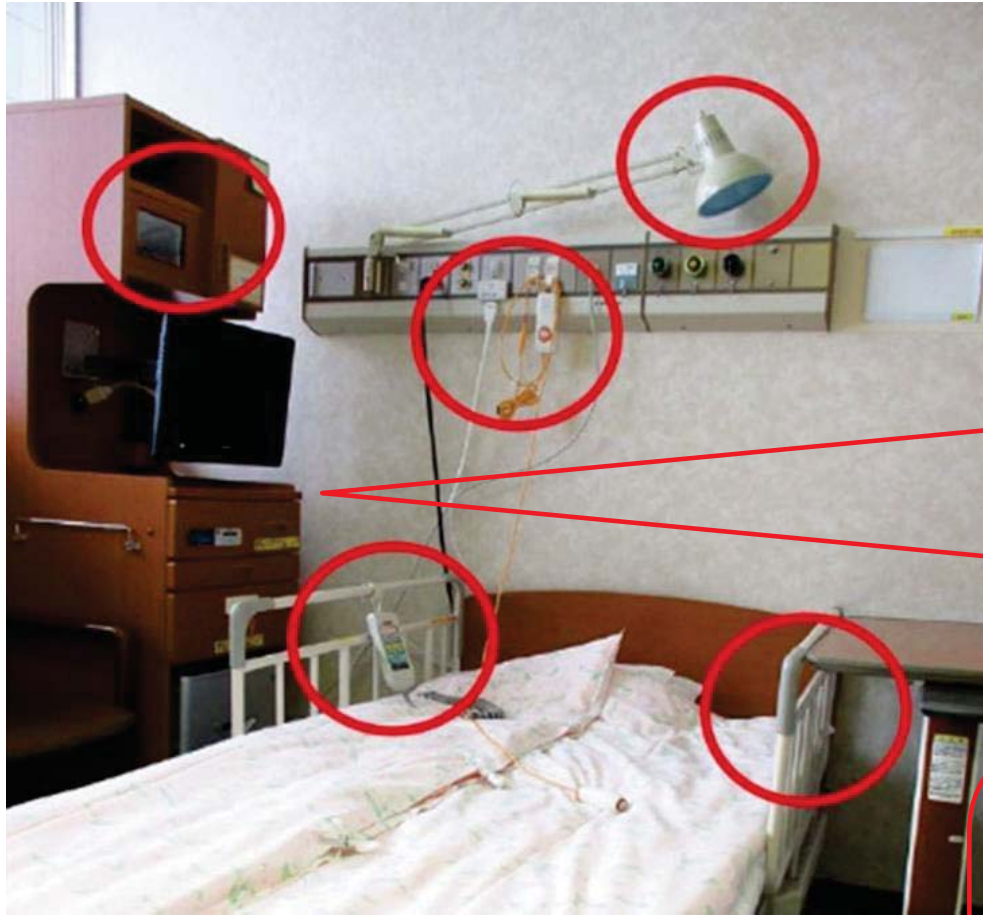
環境清掃のポイント

環境清掃のポイント

- ☀️ 埃と汚れを取り除き、常に目で見て清潔であるように保つこと。
- ☀️ スタッフや利用者がよく手を触れる、**高頻度接触面**は1回/日以上の子掃を行う。
- ☀️ 水回りは十分に水分を拭き取り、乾燥させておく。



高頻度接触面の例：室内



高頻度接触面の例：室外



高頻度接触面の例：トイレ

ウォシュレットの
タッチパネル

水洗スイッチ



手すり

便座



本日の内容

- ◆ 感染対策の基礎知識
- ◆ 最も重要！標準予防策
- ◆ コロナ対策 施設に持ち込まないために
- ◆ コロナ対策 施設内で広げないために



日頃の備え 職員

- 毎日の検温を行い、発熱や感冒様症状がある職員を把握する
- 体調不良時は管理者へ報告し、自宅待機とする体制を整える
- 家族に感冒様症状がある場合も、管理者へ報告・相談を行うようにする
- プライベートでも流行地域への移動は控える
- 3密になりやすい場所を避け、人が集まる場所に行くときはマスクを着用する



デイなどの利用者・面会者

利用者

- 利用者は送迎時に発熱や感冒様症状などの健康チェックを行う
- 健康チェックにて有症状時はサービスの利用を断る

面会者

- 施設に入る前に発熱や感冒様症状などの健康チェックを行い、有症状時は面会を断る
- 県内の警戒度に準じた面会制限を実施する
→7月10日現在は警戒度「1」…制限なし ※変わる可能性あり！
- 流行期はビデオ通話などでの面会も検討する



委託業者・配送業者

- 県内の警戒度に準じ、警戒度「2」以上であれば面会制限と同様に、緊急性のない業者の立ち入れは制限する
- 物品の受け渡しなどは、場所を限定し速やかに行う
- 業者が施設内に入る場合は、発熱や感冒様症状などの健康チェックを行い、有症状時は入館を断る
- 入館時は手指衛生、咳エチケット、マスクの正しい着用を遵守するよう伝えること



本日の内容

- ◆ 感染対策の基礎知識
- ◆ 最も重要！標準予防策
- ◆ コロナ対策 施設に持ち込まないために
- ◆ コロナ対策 施設内で広げないために



感染管理体制の整備

感染対策委員会の設立

役割・内容

- 感染に関わるマニュアル等の策定や見直し。
- 感染対策に関する職員等への研修を企画、実施。
- 決定事項や具体的対策を施設全体に周知するための窓口となる。
- 感染症が発生した場合、指揮の役割を担う。
- 委員会は、組織の全体をカバーできるように幅広い職種で構成する。
- 定期的な開催に加え、感染症が発生しやすい時期や感染症の疑いのある利用者がある場合など、必要に応じて随時開催する。
- 有事に備え、日頃から保健所や医療機関と連絡を取っておく。



利用者の健康管理

「いつもと違う」を早く見つけるために

バイタルサインの測定 **+** 健康状態の確認

- 発熱の有無
- 呼吸症状の有無（咳、痰、息切れなど）
- 筋肉痛
- 頭痛
- 咽頭痛
- 嗅覚・味覚異常 など



発熱者の数を毎日グラフ化するなど、わかりやすく記録しておくとな変化に気づきやすくなります

施設内の対策



標準予防策の遵守

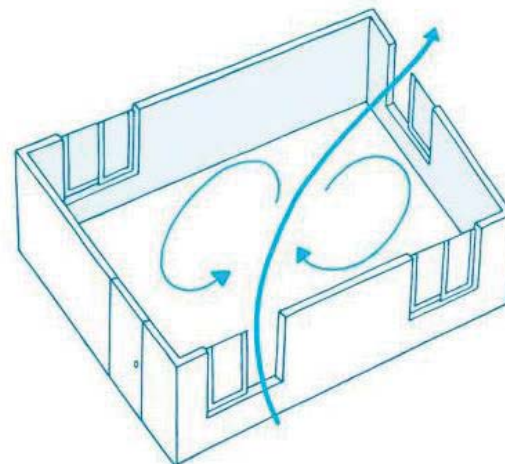
- **利用者1人毎の手指衛生を徹底**
(職員1人1人が携帯しておく、どのタイミングでも手指衛生ができるため有効)
- オムツ交換などの処置時も利用者毎に個人防護具を交換する
- 使用後の手袋などで環境を触らない
- 咳エチケットの徹底、正しいマスクの着用
- 1日1回以上の高頻度接触面の環境清掃
(共有エリアは特に徹底)



施設内の対策

3密対策

- **ロビーなど席の配置の工夫**
(向かい合わせにしない・隣との距離を空ける、一方向を向く、仕切りを作るなど)
- **レクリエーション内容の検討**
(人数の制限、カラオケや合唱は大きな声を出すためリスクは高まる)
- **定期的な換気**
(2方向以上の開窓 1回/時間、数分程度)
- **職員の休憩、食事**
(時間を分ける、食事時の席配置の工夫など)



二方向で対角の窓2カ所を開けた場合
(部屋全体を空気が循環する)

施設内の対策

環境消毒

- アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムが有効
- 次亜塩素酸ナトリウムは0.05%以上の濃度が推奨
- 標準予防策のとおり高頻度接触面の清掃が効果的
- スタッフ間で共有するPCやタブレットなど、使用後は必ず消毒をする



次亜塩素酸ナトリウム 使用時の注意点



調整時は換気の良い場所で、目や皮膚につかないように注意する

手指衛生には絶対に使用しないこと！



調整後の液をスプレー容器に入れ噴霧しないこと



金属腐食性があるため、液を使用した箇所は水拭きを行うこと



調整後の液は保管せず、その日限りの使用とする



0.05%次亜塩素酸ナトリウムの調整方法

次亜塩素酸ナトリウム
(市販品：約5~6%)
10ml

+

水道水
1000ml



0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウムの調整方法

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター キッチンハイター	水 1L に本商品 25mL (商品付属のキャップ 1 杯) [*] ※次亜塩素酸ナトリウムは、一般的にゆっくりと分解し、濃度が低下して いきます。購入から3ヶ月以内の場合は、水 1L に本商品 10ml (商品 付属のキャップ 1/2 杯) が目安です。
カネヨ石鹼	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ブランド名 (五十音順)	商品名	作り方の例
イオングループ (トップバリュ)	キッチン用漂白剤	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
西友 / サニー / リヴィン (きほんのき)	台所用漂白剤	水 1L に本商品 12mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
セブン&アイ・ ホールディングス (セブンプレミアム ライフスタイル)	キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)



感染が疑われる利用者への対応

追加の対策

標準予防策

全ての利用者に
日常的に行う感染対策

手指衛生
個人防護具の使用
咳エチケット
環境清掃 など

経路別予防策

個室管理
難しければ大部屋でもよい
が、隣との距離を2m離し、
カーテンなどで仕切る

接触感染予防策 + 飛沫感染
予防策

マスク・手袋・エプロンで
の対応
体温計・血圧計など専用化
環境清掃（高頻度接触面を
2回/日以上）



感染が疑われる利用者への対応

- ◆ 感染が疑われる利用者とその他を担当する職員を、可能な限り分ける
- ◆ 入室前に個人防護具を着用し、退室前に正しい手順で脱ぐ

食事

- 室内へ配膳
- 介助は横もしくは斜め後ろから
- 利用者の姿勢をしっかりと整える（ムセ込み防止）
- 下膳時は環境に触れないように持ち運ぶ
- 食器は80℃、10分間の熱水消毒を行う

トイレ

- 個室のトイレまたはポータブルトイレを使用
- 大部屋の場合、他の利用者を使用するトイレを分ける、または使用毎に清掃を行う
- 原則オムツカートの使用はしない

清潔・洗濯

- 専用の浴室がなければ、入浴はせず清拭対応
- 着衣、リネンはビニール袋に入れて運ぶ
- リネンは80℃、10分間の熱水消毒を行う



TAKE FACILITY MESSAGE

- 持ち込まないため、日頃からの健康管理、
標準予防策の遵守が最も重要
- 拡げないため、利用者の健康観察、施設内の設備・レクリエーションなどの検討が必要
- 施設内に感染対策委員会を設け、日頃から対策の検討・見直しを行っておく
- 利用者一人毎に手指衛生を行うことと、個人防護具を変えることを徹底する



参考資料

- 厚生労働省 高齢者介護施設における感染対策マニュアル
(2019年3月改訂)
- 日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策 第1版
(2020年4月3日)
- 日本環境感染学会 高齢者福祉施設従事者のためのQ&A 第1版
(2020年3月10日)、第2版(5月26日)
- 東京動画 高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防～正しい知識とケアの方法で高齢者を守ろう！～(2020年6月29日公開)

